

平成 23 年度後期・授業評価アンケートの概要【千住】

【I】はじめに

平成 23 年 12 月 14 日（水）～平成 24 年 1 月 23 日（月）（但し半期科目は平成 23 年 11 月 9 日（水）～12 月 20 日（火））の 1 週間にわたって、授業改善を目的とした、学生による「授業評価アンケート」をほぼ全科目で実施しました（*1）。ご協力ありがとうございました。以下では、原則として回答番号の「5（肯定的評価）」から「1（否定的評価）」までを点数とみなして合計し、回答者数で除した「平均点」を項目別に表示しました（*2）。

①プレゼンテーション技術	01. 教員の言葉は全体として明瞭で聞き取りやすかったですか
	02. 板書やスライドなどの文字は見やすかったですか
	03. プリント・スライド・VTR 等の教材は、授業の理解を深めるのに役に立ちましたか
②授業の運営方法	04. 講義は講義細目の通りでしたか
	05. 教員は、私語について注意するなど受講環境の適切な確保をしましたか
	06. あなた自身にとって、各回の授業の量はどうか感じられましたか
	07. あなた自身にとって、この授業のレベルはどうか感じられましたか
	08. 教員の熱意は伝わりましたか
③受講態度の評価	09. 授業方法は、あなたの理解度や到達度に留意し工夫されていきましたか
	12. あなたは予習・復習など、授業時間以外での学習をしましたか
④受講結果の評価	10. あなたは授業内容に触発されて、参考書を読むなどの学習意欲をかきたてられましたか
	11. あなたは授業内容をどの程度理解できたと思いますか +SQ 理由を問う副問
	13. 総合的に見て、この授業にどの程度満足しましたか +SQ 理由を問う副問

*1：匿名性の確保が困難な「履修登録者数が 5 名未満の科目」、結果の意味が曖昧な「複数教員の担当科目」は、原則として実施対象から除外しました。

*2：問 04・問 06・問 07 は、回答番号が単純に肯定・否定を意味しないため、平均値としての表示はしていません。

【II】検討結果

集計結果と自由記述は担当教員に配布しました。そのうえで、学科などで議論した結果、次のような対応策と要望が示されました。大学の授業は、教員と学生がともに新しい知識を求める熱意と努力を共有することで成り立ちます。教員も授業改善に努めますので、皆さんも提言を受け止めて、大学生として求められる受講態度をつくるように努めてください。

●総合教育センター

【センターの対応】

- ・授業評価アンケートに一定の位置づけを与え、各教員の授業改善に役立てている。
- ・学生からの問題点指摘や要望（黒板の文字が読みにくい・小さい、話し方が速いなど）に対して改善に努めている。
- ・受講生に「何を学ぶのか」がわかるように、授業の冒頭に内容（項目）と構成を説明するようにした。
- ・座学であっても、できるだけ学生が参画できるスタイルを導入した。
- ・受講生の関心や水準を考慮した教材・テキストを取り入れている。

【学生への要望】

- ・学ぶことができる環境に感謝し、積極的・主体的に授業に参画してほしい。

●生命環境学部

生命科学科

【学科の対応】

自宅学習をする学生が少ないことが専門科目の共通の課題であるため、自宅学習を促すことが必要と思われる。講義内容のレベルを保ちつつ、学生の学習意欲を引き出すためにも、自ら学ばせる工夫を検討する。

【学生への要望】

専門科目の講義について、予習と復習の自宅学習を行い、自ら調べる学習姿勢を身につけてほしい。講義の不明な点を教員に質問することも自ら学習するという姿勢に結び付くので、積極的に行なってもらいたい。

自然環境学科

【学科等での対策】

アンケート結果を学科内の全教員で検討し、特に各アンケート項目で良い評価を得た教員の創意工夫を紹介してもらい情報交換をはかることにより、学生にとって満足感が得られるよう授業改善を進めていく。

【学生への要望】

実習や実験を通して培う実践的な知識と技術が本学科の大きな特徴のひとつであるが、講義による広範な基礎知識の習得があってはじめてそれらが習得できる。講義にはしっかり出席し、不明な点は定期試験前に各教員に質問し、自宅での学習も怠りなくやって欲しい。

アニマルサイエンス学科

【学科の対応】

各教員は、各自の評価の経時変化から授業改善の効果を確認する。個別事例は学科として共有する機会を設け、授業改善の参考とする。

【学生への要望】

授業の内容やレベルは、各教員の教育理念や資格修得上、必要なことに基づいておこなっていることを認識して欲しい。また、アンケートで低い評価をする時には、改善の参考とするためその理由を具体的にコメント欄に書いて欲しい。

●医療科学部

東京理学療法学科

【学科の対応】

1. 講義資料（スライド）の見やすさやデザインの改善を図り、可能な限り資料をプリントにして配布し、大切なポイントを明確に教授する。
2. 授業の進行程度や授業の内容量が適切であるか常に考慮し、無理のない授業を心がける。

【学生への要望】

1. 予習、復習を必ず励行してほしい。
2. 学習内容を整理し、まとめとして必ずノートを作成してほしい。

東京柔道整復学科

【学科の対応】

1. シラバスに基づいて講義を実施します。
2. 講義の理解を深めるため、見やすいスライドや配付資料の作成に努めます。
3. 私語をする者、寝ている者に対しては適宜注意をします。注意を受けた学生は教員の指示に従って下さい。

【学生に対する要望】

1. 受講する授業の前に必ずシラバスを確認して下さい。
2. 授業の予習と復習を確実に行って下さい。
3. 講義で生じた質問や疑問は、専任教員については授業時間以外にオフィスアワーもこれまで以上に活用して下さい。

●こども学部

児童教育学科

【学科の対応】

学生一人一人が授業に興味と集中力がもてるように、学生が記入するワークシートの作成や講義の要点を取りまとめたPPの提示など、教材の提示方法を工夫する。授業の在り方についても、できるだけ対話型の授業を行ない、学生の積極的な参画を促す。また、予習・復習の観点を具体的に示し、折に触れてその内容をレポート提出させるなどの工夫をする。

【学生への要望】

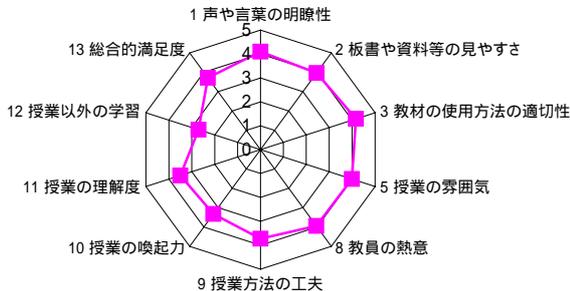
基本的な学修態度として、遅刻・欠席、授業中の私語等をしないようにしてほしい。また、予習・復習を丁寧に行ない、主体的・積極的に授業に取り組んでほしい。学生自らが、学ぼうとする態度と姿勢をもってほしい。単位は、各科目に示されている目標に対して一定の水準に到達した者に対して与えられることを理解する。

今年度も「授業評価アンケート」を実施しますので、ご協力をお願いします。

授業コード	集計区分 総合計(千住)		開講曜日			回答者	8,569	
担当教員			開講時限			回答率	69.4%	
履修者数	12,354		開講場所			平均	無効回答	
		回答5	回答4	回答3	回答2	回答1		
1 声や言葉の明瞭性		3,297	3,422	1,358	346	127	4.10	19
2 板書や資料等の見やすさ		3,005	3,137	1,621	555	200	3.96	51
3 教材の使用法の適切性		3,785	2,780	1,545	286	106	4.16	67
4 講義の細目との一致度		2,925	3,656	847	91	979	2.88	71
5 授業の雰囲気		2,756	3,389	1,978	268	122	3.99	56
6 各回の授業量		1,054	2,633	4,677	130	35	3.53	40
7 授業のレベル		791	3,255	4,286	181	26	3.54	30
8 教員の熱意		2,463	3,656	2,008	235	142	3.95	65
9 授業方法の工夫		1,763	3,406	2,745	421	176	3.72	58
10 授業の喚起力		994	2,821	3,179	935	567	3.32	73
11 授業の理解度		970	3,219	3,539	606	151	3.50	84
SQ11 理解不足の原因		348	402	493	297	35	-	-
12 授業以外の学習		415	1,413	3,006	2,310	1,192	2.71	233
13 総合的満足度		1,633	3,177	2,675	363	183	3.71	538
SQ13 不満者の改善意見		242	227	323	84	48	-	-
14 各教員別質問事項		-	-	-	-	-	-	-

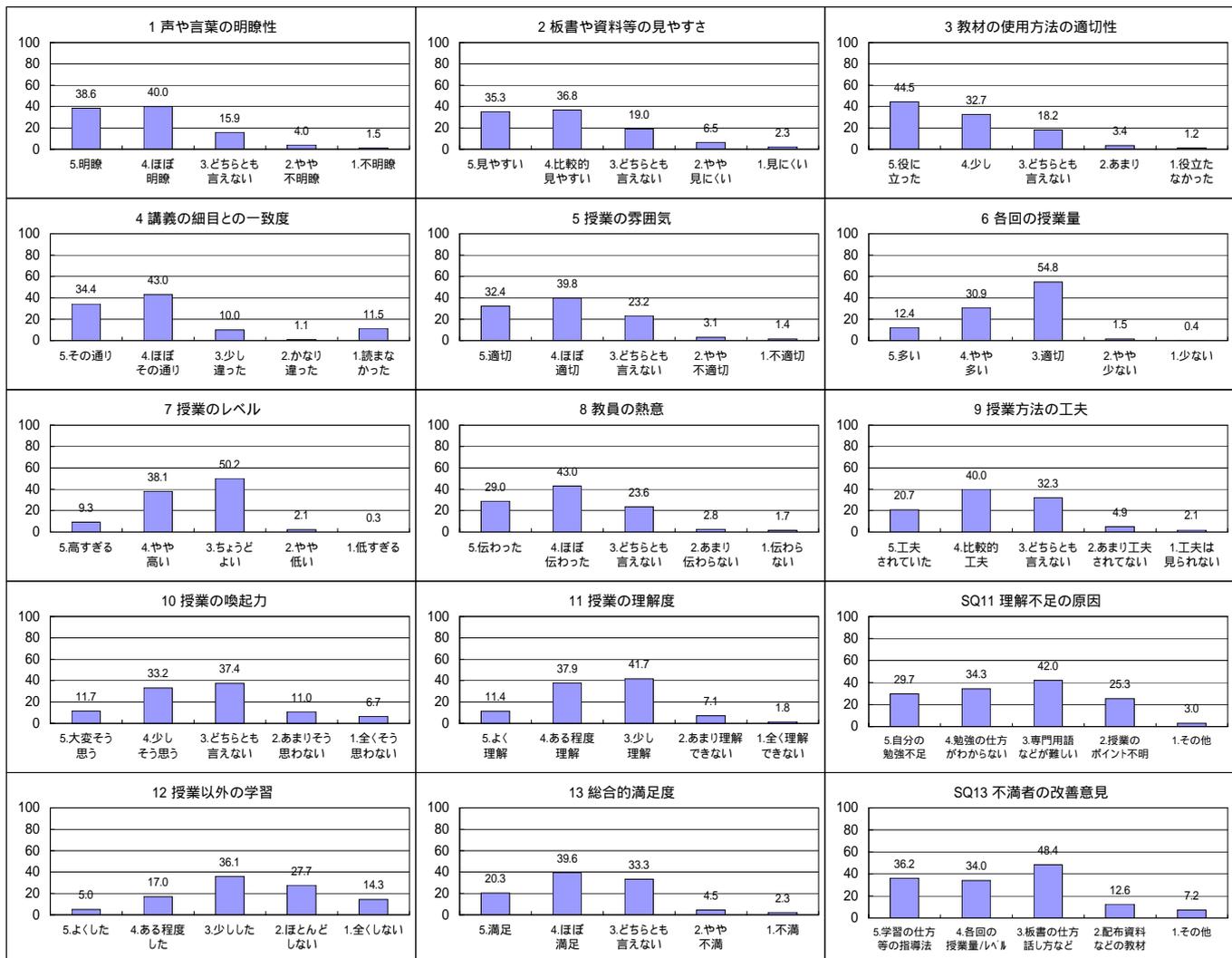
各項目の平均値のグラフ

ただし
 4 講義の細目との一致度
 6 各回の授業量
 7 授業のレベル
 SQ11 理解不足の原因
 SQ13 不満者の改善意見
 14 各教員別質問事項
 の6項目は、数値の意味が他の項目と異なるので、除外してある。



説明:

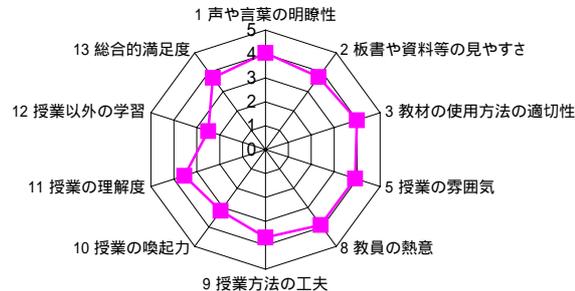
- 平均は、項目4以外は、回答1~5の回答数にそれぞれ1~5を加重した平均値である。
- 項目4のみは、回答1の質の違いを考慮して、回答2~5の回答数にそれぞれ1~4を加重した平均値である。
- 項目6,7は回答3が最適値である。



授業コード	集計区分	開講曜日						回答者	1,755
	教養科目【千住】	開講時限						回答率	63.3%
	担当教員	開講場所						平均	無効回答
	履修者数	2,773	回答5	回答4	回答3	回答2	回答1		
1	声や言葉の明瞭性		695	640	261	101	52	4.04	6
2	板書や資料等の見やすさ		561	569	330	185	100	3.75	10
3	教材の使用法の適切性		695	498	405	96	43	3.98	18
4	講義の細目との一致度		591	745	164	20	220	2.84	15
5	授業の雰囲気		539	683	398	76	46	3.91	13
6	各回の授業量		137	437	1,138	29	3	3.39	11
7	授業のレベル		110	529	1,070	31	6	3.40	9
8	教員の熱意		518	689	421	64	49	3.90	14
9	授業方法の工夫		371	650	561	95	62	3.67	16
10	授業の喚起力		181	525	628	207	197	3.16	17
11	授業の理解度		230	686	664	111	50	3.54	14
SQ11	理解不足の原因		48	70	74	72	14	-	-
12	授業以外の学習		66	243	520	515	361	2.49	50
13	総合的満足度		379	634	508	85	62	3.71	87
SQ13	不満者の改善意見		56	41	95	22	20	-	-
14	各教員別質問事項		-	-	-	-	-	-	-

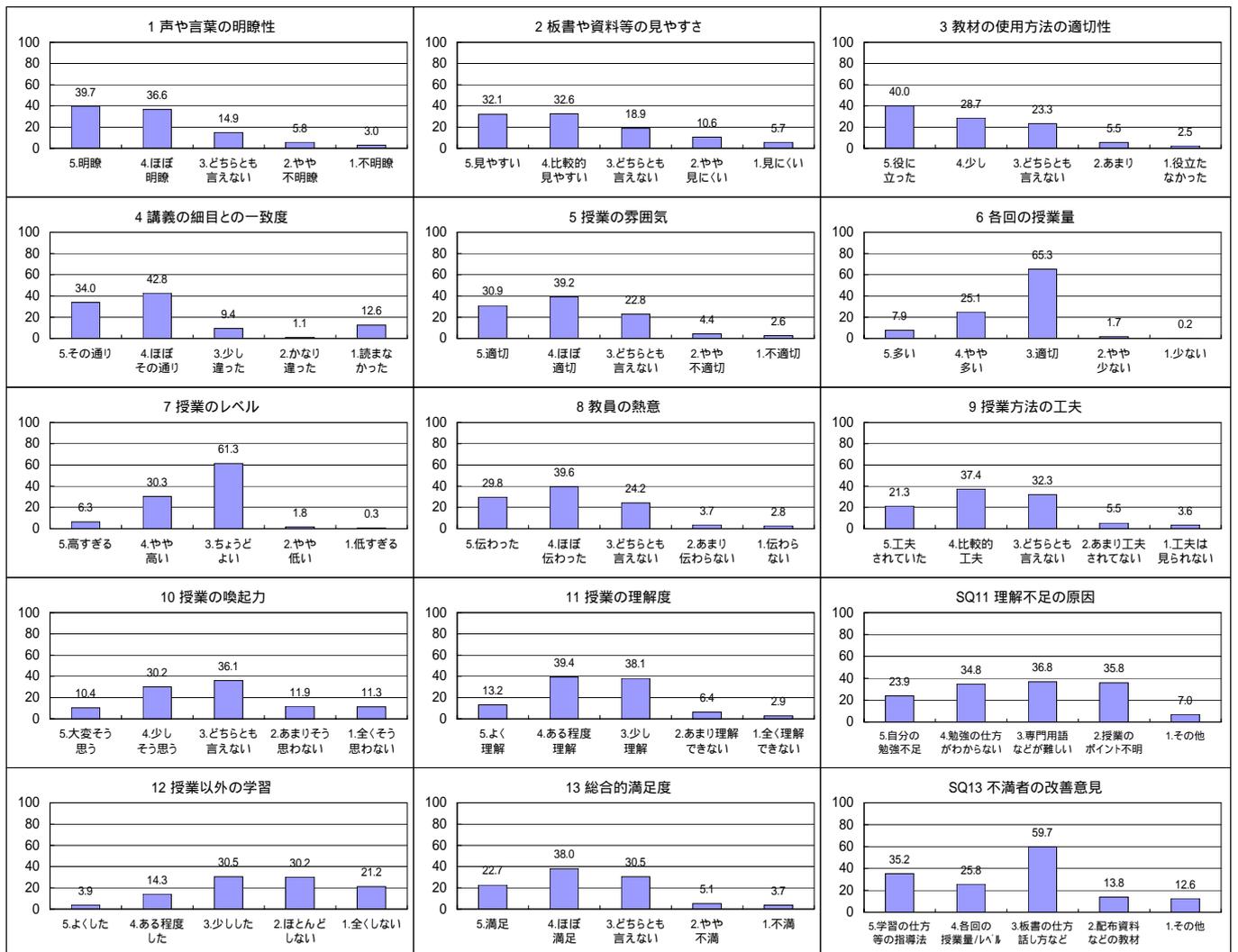
各項目の平均値のグラフ

ただし
 4 講義の細目との一致度
 6 各回の授業量
 7 授業のレベル
 SQ11 理解不足の原因
 SQ13 不満者の改善意見
 14 各教員別質問事項
 の6項目は、数値の意味が他の項目と異なるので、除外してある。



説明:

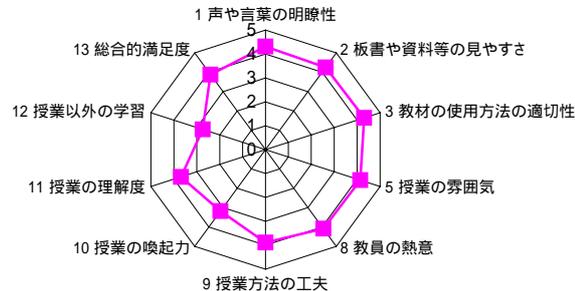
- 平均は、項目4以外は、回答1～5の回答数にそれぞれ1～5を加重した平均値である。
- 項目4のみは、回答1の質の違いを考慮して、回答2～5の回答数にそれぞれ1～4を加重した平均値である。
- 項目6,7は回答3が最適値である。



授業コード								
集計区分	コミュニケーション科目[千住]	開講曜日				回答者	1,019	
担当教員		開講時限				回答率	78.0%	
履修者数	1,307	開講場所				平均		無効回答
		回答5	回答4	回答3	回答2	回答1		
1 声や言葉の明瞭性		498	369	122	23	5	4.31	2
2 板書や資料等の見やすさ		455	384	141	28	4	4.24	7
3 教材の使用法の適切性		498	353	139	19	3	4.31	7
4 講義の細目との一致度		358	444	82	11	120	2.90	4
5 授業の雰囲気		359	446	188	15	2	4.13	9
6 各回の授業量		90	268	629	23	3	3.41	6
7 授業のレベル		63	299	601	47	4	3.36	5
8 教員の熱意		330	465	193	17	6	4.08	8
9 授業方法の工夫		244	460	267	33	8	3.89	7
10 授業の喚起力		90	305	394	135	84	3.18	11
11 授業の理解度		144	452	363	39	6	3.69	15
SQ11 理解不足の原因		35	29	37	16	2	-	-
12 授業以外の学習		51	183	362	235	156	2.73	32
13 総合的満足度		230	418	269	29	7	3.88	66
SQ13 不満者の改善意見		18	21	23	3	2	-	-
14 各教員別質問事項		-	-	-	-	-	-	-

各項目の平均値のグラフ

ただし
 4 講義の細目との一致度
 6 各回の授業量
 7 授業のレベル
 SQ11 理解不足の原因
 SQ13 不満者の改善意見
 14 各教員別質問事項
 の6項目は、数値の意味が他の項目と異なるので、除外してある。



説明:

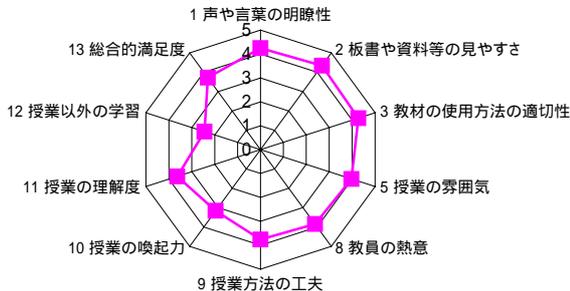
- 平均は、項目4以外は、回答1~5の回答数にそれぞれ1~5を加重した平均値である。
- 項目4のみは、回答1の質の違いを考慮して、回答2~5の回答数にそれぞれ1~4を加重した平均値である。
- 項目6,7は回答3が最適値である。



授業コード								
集計区分	コミュニケーション科目(情報処理)[千住]	開講曜日				回答者	591	
担当教員		開講時限				回答率	85.0%	
履修者数	695	開講場所				平均		無効回答
		回答5	回答4	回答3	回答2	回答1		
1 声や言葉の明瞭性		275	220	74	11	11	4.25	0
2 板書や資料等の見やすさ		303	199	74	9	4	4.34	2
3 教材の使用法の適切性		290	191	85	12	8	4.27	5
4 講義の細目との一致度		237	226	54	5	63	2.97	6
5 授業の雰囲気		186	236	141	12	14	3.96	2
6 各回の授業量		131	205	243	4	6	3.77	2
7 授業のレベル		76	261	234	16	4	3.66	0
8 教員の熱意		140	260	154	15	16	3.84	6
9 授業方法の工夫		130	245	170	25	18	3.76	3
10 授業の喚起力		59	151	253	76	48	3.17	4
11 授業の理解度		78	262	206	23	13	3.63	9
SQ11 理解不足の原因		14	20	27	17	2	-	-
12 授業以外の学習		36	70	144	185	139	2.44	17
13 総合的満足度		106	244	170	22	16	3.72	33
SQ13 不満者の改善意見		22	20	20	4	1	-	-
14 各教員別質問事項		-	-	-	-	-	-	-

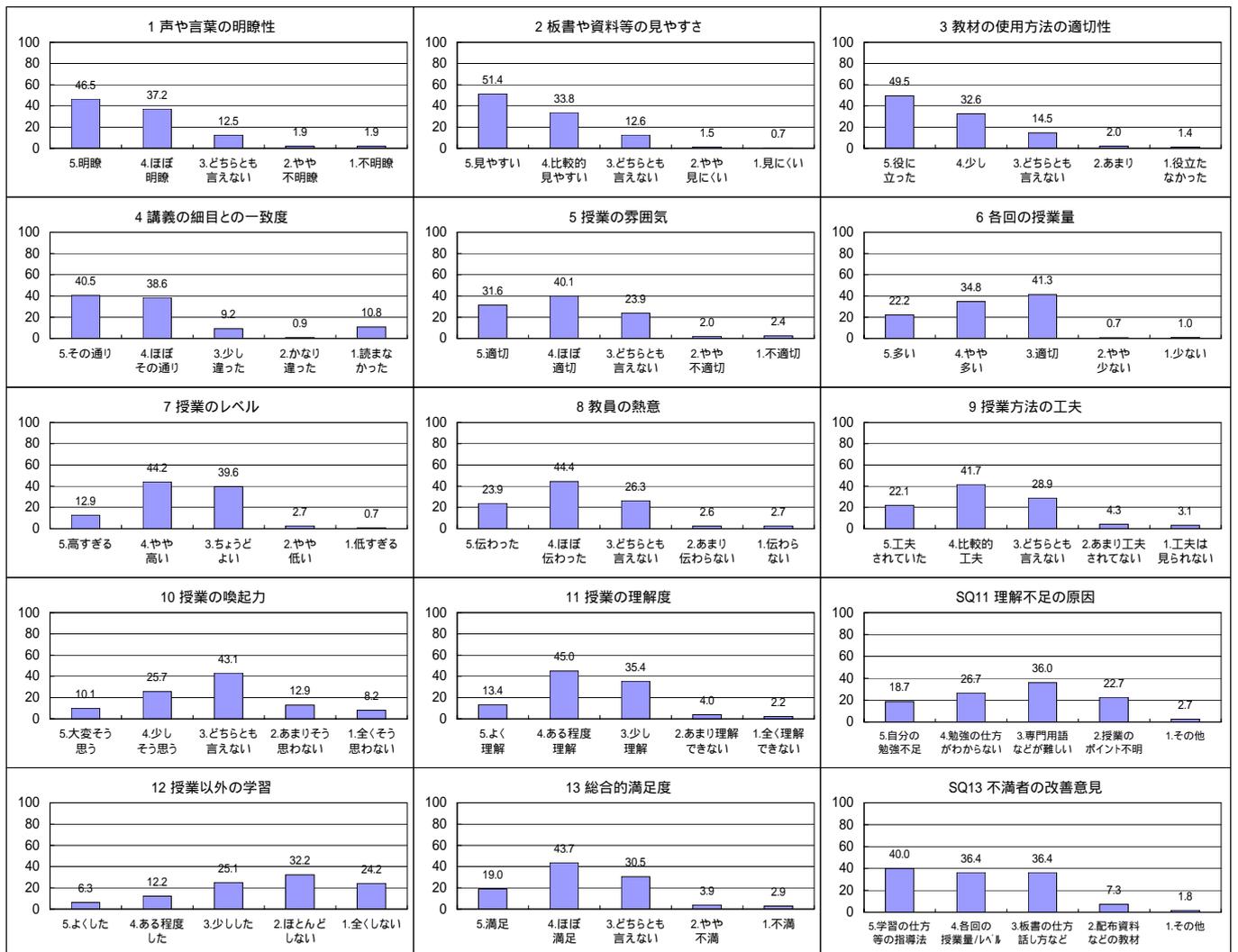
各項目の平均値のグラフ

ただし
 4 講義の細目との一致度
 6 各回の授業量
 7 授業のレベル
 SQ11 理解不足の原因
 SQ13 不満者の改善意見
 14 各教員別質問事項
 の6項目は、数値の意味が他の項目と異なるので、除外してある。



説明:

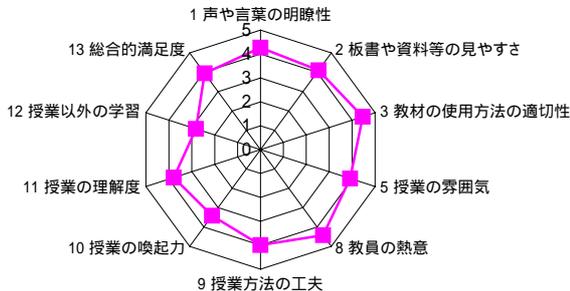
- 平均は、項目4以外は、回答1～5の回答数にそれぞれ1～5を加重した平均値である。
- 項目4のみは、回答1の質の違いを考慮して、回答2～5の回答数にそれぞれ1～4を加重した平均値である。
- 項目6,7は回答3が最適値である。



授業コード	集計区分		開講曜日			回答者	99
	課程科目【千住】		開講時限			回答率	81.1%
	担当教員		開講場所			平均	
	履修者数	122				無効回答	
	回答5	回答4	回答3	回答2	回答1	平均	無効回答
1 声や言葉の明瞭性	45	40	10	3	1	4.26	0
2 板書や資料等の見やすさ	42	32	19	5	1	4.10	0
3 教材の使用法の適切性	59	26	12	1	0	4.46	1
4 講義の細目との一致度	48	36	3	0	12	3.09	0
5 授業の雰囲気	29	35	33	1	1	3.91	0
6 各回の授業量	4	12	81	2	0	3.18	0
7 授業のレベル	5	23	70	1	0	3.32	0
8 教員の熱意	49	43	4	2	0	4.42	1
9 授業方法の工夫	32	39	24	3	1	3.99	0
10 授業の喚起力	14	40	23	15	6	3.42	1
11 授業の理解度	17	46	31	2	1	3.78	2
SQ11 理解不足の原因	3	2	0	2	0	-	-
12 授業以外の学習	10	18	29	24	16	2.81	2
13 総合的満足度	29	38	23	4	1	3.95	4
SQ13 不満者の改善意見	1	2	1	0	0	-	-
14 各教員別質問事項	-	-	-	-	-	-	-

各項目の平均値のグラフ

ただし
 4 講義の細目との一致度
 6 各回の授業量
 7 授業のレベル
 SQ11 理解不足の原因
 SQ13 不満者の改善意見
 14 各教員別質問事項
 の6項目は、数値の意味が他の項目と異なるので、除外してある。



説明:

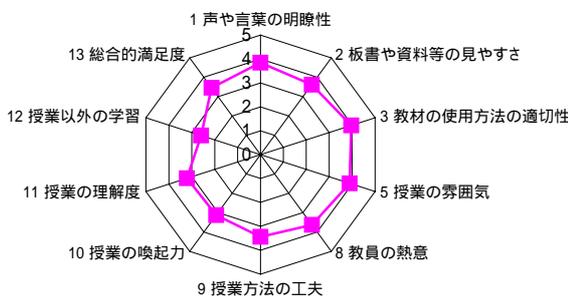
- 平均は、項目4以外は、回答1～5の回答数にそれぞれ1～5を加重した平均値である。
- 項目4のみは、回答1の質の違いを考慮して、回答2～5の回答数にそれぞれ1～4を加重した平均値である。
- 項目6,7は回答3が最適値である。



授業コード								
集計区分	生命科学科[千住]	開講曜日				回答者	561	
担当教員		開講時限				回答率	62.1%	
履修者数	904	開講場所				平均	無効回答	
		回答5	回答4	回答3	回答2	回答1		
1 声や言葉の明瞭性		142	255	110	39	14	3.84	1
2 板書や資料等の見やすさ		104	237	137	61	19	3.62	3
3 教材の使用法の適切性		185	206	129	31	6	3.96	4
4 講義の細目との一致度		115	263	60	8	108	2.49	7
5 授業の雰囲気		134	261	140	14	9	3.89	3
6 各回の授業量		70	207	276	5	0	3.61	3
7 授業のレベル		55	266	230	6	0	3.66	4
8 教員の熱意		96	225	189	31	17	3.63	3
9 授業方法の工夫		66	186	241	45	16	3.44	7
10 授業の喚起力		33	161	245	73	42	3.13	7
11 授業の理解度		19	174	278	71	14	3.20	5
SQ11 理解不足の原因		26	33	43	29	3	-	-
12 授業以外の学習		13	72	220	161	80	2.59	15
13 総合的満足度		59	189	228	37	14	3.46	34
SQ13 不満者の改善意見		21	21	32	2	5	-	-
14 各教員別質問事項		-	-	-	-	-	-	-

各項目の平均値のグラフ

ただし
 4 講義の細目との一致度
 6 各回の授業量
 7 授業のレベル
 SQ11 理解不足の原因
 SQ13 不満者の改善意見
 14 各教員別質問事項
 の6項目は、数値の意味が他の項目と異なるので、除外してある。



説明:

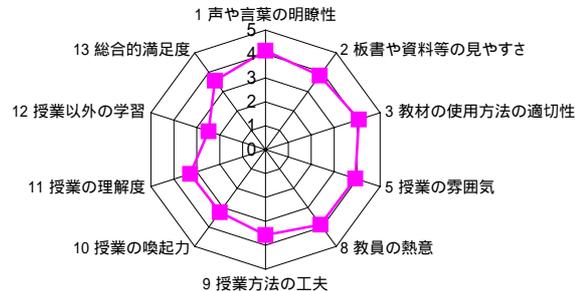
- 平均は、項目4以外は、回答1~5の回答数にそれぞれ1~5を加重した平均値である。
- 項目4のみは、回答1の質の違いを考慮して、回答2~5の回答数にそれぞれ1~4を加重した平均値である。
- 項目6,7は回答3が最適値である。



授業コード					回答者	478
集計区分	自然環境学科[千住]	開講曜日			回答率	67.7%
担当教員					平均	
履修者数	706	開講場所			無効回答	
	回答5	回答4	回答3	回答2	回答1	
1 声や言葉の明瞭性	180	209	64	18	5	4.14
2 板書や資料等の見やすさ	141	181	93	47	12	3.83
3 教材の使用法の適切性	192	167	84	21	11	4.07
4 講義の細目との一致度	128	217	47	2	80	2.66
5 授業の雰囲気	128	212	105	21	7	3.92
6 各回の授業量	47	161	247	12	9	3.47
7 授業のレベル	44	194	224	14	1	3.56
8 教員の熱意	119	212	120	11	11	3.88
9 授業方法の工夫	70	190	167	37	11	3.57
10 授業の喚起力	39	167	167	70	32	3.23
11 授業の理解度	21	168	212	54	12	3.28
SQ11 理解不足の原因	24	30	32	22	1	-
12 授業以外の学習	5	54	176	168	70	2.48
13 総合的満足度	69	163	176	28	11	3.56
SQ13 不満者の改善意見	10	16	21	5	3	-
14 各教員別質問事項	-	-	-	-	-	-

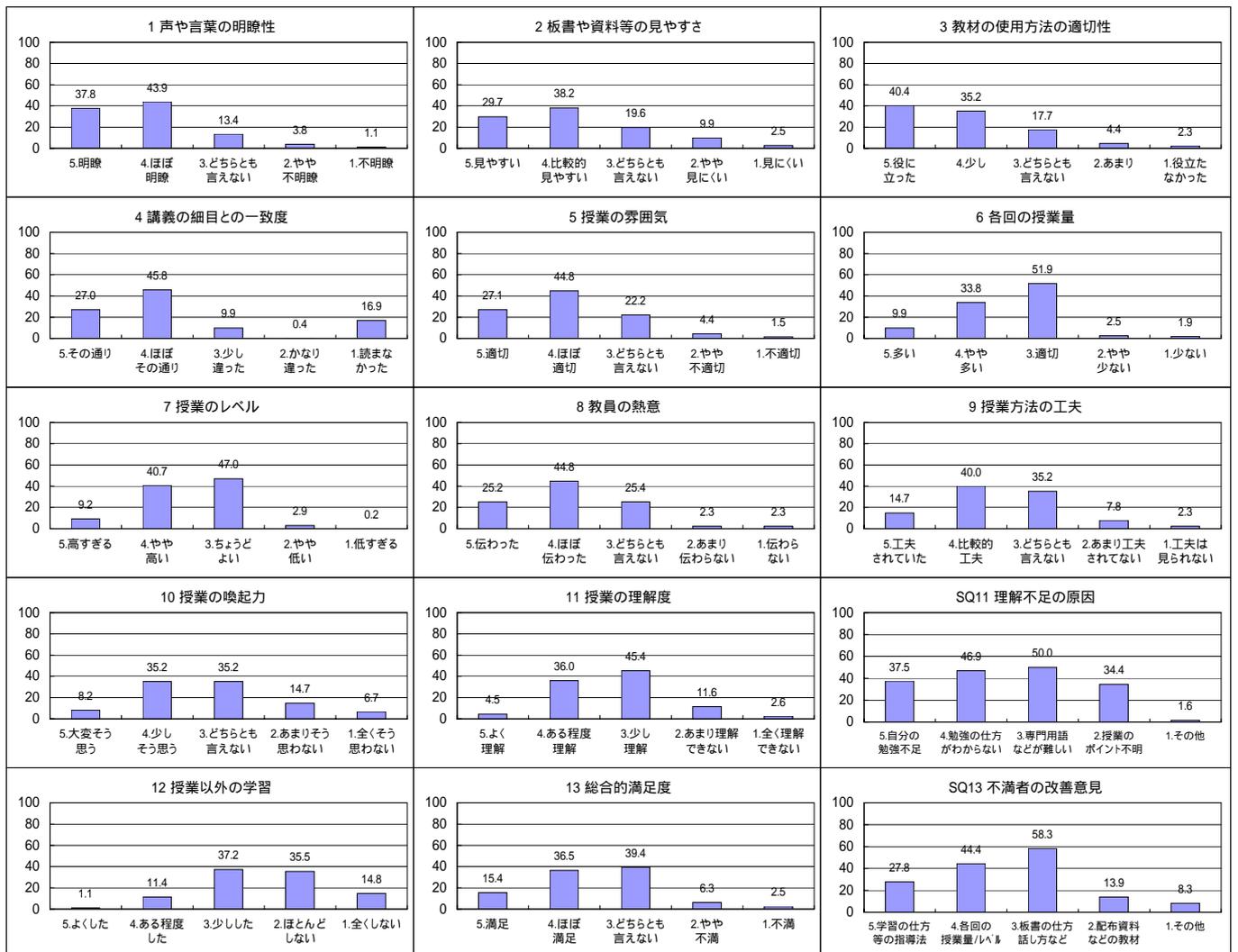
各項目の平均値のグラフ

ただし
 4 講義の細目との一致度
 6 各回の授業量
 7 授業のレベル
 SQ11 理解不足の原因
 SQ13 不満者の改善意見
 14 各教員別質問事項
 の6項目は、数値の意味が他の項目と異なるので、除外してある。



説明:

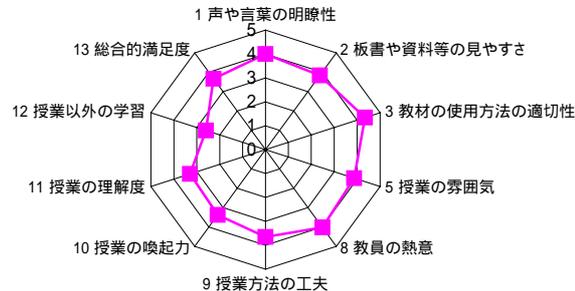
- 平均は、項目4以外は、回答1~5の回答数にそれぞれ1~5を加重した平均値である。
- 項目4のみは、回答1の質の違いを考慮して、回答2~5の回答数にそれぞれ1~4を加重した平均値である。
- 項目6,7は回答3が最適値である。



授業コード								
集計区分	アニマルサイエンス学科(千住)		開講曜日				回答者	987
担当教員			開講時限				回答率	73.8%
履修者数	1,337		開講場所				平均	無効回答
	回答5	回答4	回答3	回答2	回答1	平均	無効回答	
1 声や言葉の明瞭性	293	459	178	50	6	4.00	1	
2 板書や資料等の見やすさ	287	384	201	92	20	3.84	3	
3 教材の使用法の適切性	499	349	109	24	2	4.34	4	
4 講義の細目との一致度	323	456	67	8	125	2.86	8	
5 授業の雰囲気	263	374	309	29	9	3.87	3	
6 各回の授業量	109	375	493	7	0	3.60	3	
7 授業のレベル	102	500	375	10	0	3.70	0	
8 教員の熱意	266	500	193	19	6	4.02	3	
9 授業方法の工夫	157	395	363	58	6	3.65	8	
10 授業の喚起力	87	374	380	105	39	3.37	2	
11 授業の理解度	59	310	488	114	13	3.29	3	
SQ11 理解不足の原因	65	37	66	31	4	-	-	
12 授業以外の学習	23	106	395	352	96	2.60	15	
13 総合的満足度	143	415	329	50	10	3.67	40	
SQ13 不満者の改善意見	21	21	22	16	4	-	-	
14 各教員別質問事項	-	-	-	-	-	-	-	

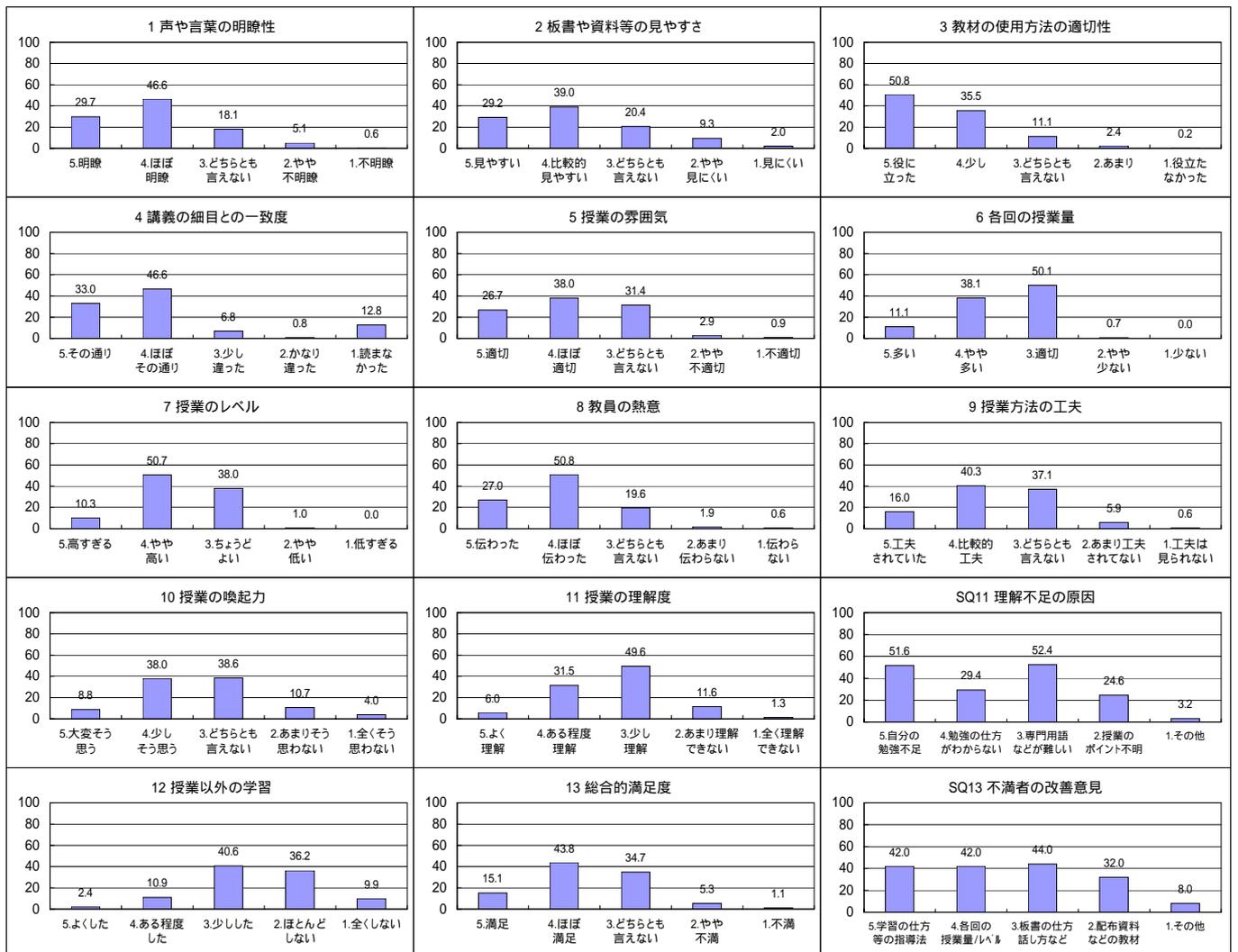
各項目の平均値のグラフ

ただし
 4 講義の細目との一致度
 6 各回の授業量
 7 授業のレベル
 SQ11 理解不足の原因
 SQ13 不満者の改善意見
 14 各教員別質問事項
 の6項目は、数値の意味が他の項目と異なるので、除外してある。



説明:

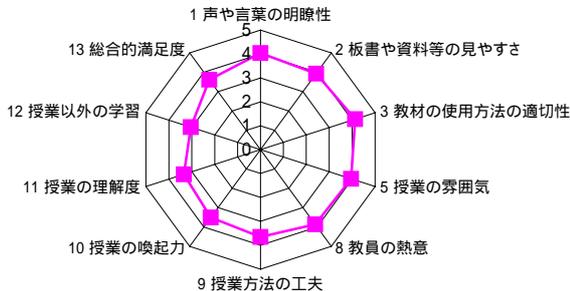
- 平均は、項目4以外は、回答1~5の回答数にそれぞれ1~5を加重した平均値である。
- 項目4のみは、回答1の質の違いを考慮して、回答2~5の回答数にそれぞれ1~4を加重した平均値である。
- 項目6,7は回答3が最適値である。



授業コード								
集計区分	東京理学療法学科[千住]		開講曜日			回答者	990	
担当教員			開講時限			回答率	82.8%	
履修者数	1,196		開講場所			平均	無効回答	
	回答5	回答4	回答3	回答2	回答1	平均	無効回答	
1 声や言葉の明瞭性	322	438	182	39	8	4.04	1	
2 板書や資料等の見やすさ	323	355	238	54	16	3.93	4	
3 教材の使用法の適切性	422	316	204	28	13	4.13	7	
4 講義の細目との一致度	366	421	117	11	67	3.03	8	
5 授業の雰囲気	313	369	251	40	10	3.95	7	
6 各回の授業量	184	364	432	7	2	3.73	1	
7 授業のレベル	107	493	382	5	1	3.71	2	
8 教員の熱意	251	402	286	35	11	3.86	5	
9 授業方法の工夫	176	390	344	52	24	3.65	4	
10 授業の喚起力	132	376	355	89	27	3.51	11	
11 授業の理解度	69	323	480	93	15	3.34	10	
SQ11 理解不足の原因	38	69	60	43	3	-	-	
12 授業以外の学習	48	253	396	212	51	3.04	30	
13 総合的満足度	153	342	329	52	24	3.61	90	
SQ13 不満者の改善意見	35	25	32	11	2	-	-	
14 各教員別質問事項	-	-	-	-	-	-	-	

各項目の平均値のグラフ

ただし
 4 講義の細目との一致度
 6 各回の授業量
 7 授業のレベル
 SQ11 理解不足の原因
 SQ13 不満者の改善意見
 14 各教員別質問事項
 の6項目は、数値の意味が他の項目と異なるので、除外してある。



説明:

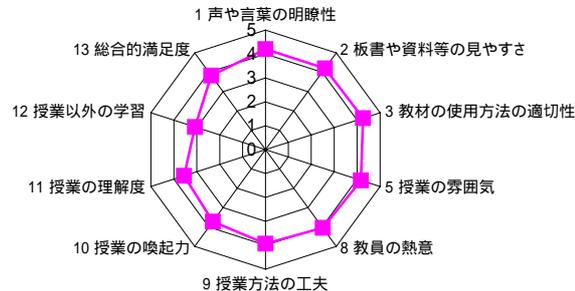
- 平均は、項目4以外は、回答1~5の回答数にそれぞれ1~5を加重した平均値である。
- 項目4のみは、回答1の質の違いを考慮して、回答2~5の回答数にそれぞれ1~4を加重した平均値である。
- 項目6,7は回答3が最適値である。



授業コード								
集計区分	東京柔道整復学科[千住]	開講曜日				回答者	842	
担当教員		開講時限				回答率	84.7%	
履修者数	994	開講場所				平均		無効回答
		回答5	回答4	回答3	回答2	回答1		
1 声や言葉の明瞭性		371	308	131	20	10	4.20	2
2 板書や資料等の見やすさ		353	329	127	15	10	4.20	8
3 教材の使用法の適切性		404	271	137	15	9	4.25	6
4 講義の細目との一致度		346	361	95	2	32	3.18	6
5 授業の雰囲気		355	307	147	19	10	4.17	4
6 各回の授業量		162	275	396	3	2	3.71	4
7 授業のレベル		136	356	343	3	1	3.74	3
8 教員の熱意		278	353	175	15	11	4.05	10
9 授業方法の工夫		231	367	207	24	11	3.93	2
10 授業の喚起力		176	330	260	55	13	3.72	8
11 授業の理解度		136	279	345	63	14	3.55	5
SQ11 理解不足の原因		49	56	80	36	2	-	-
12 授業以外の学習		78	182	350	158	58	3.08	16
13 総合的満足度		216	271	260	23	16	3.82	56
SQ13 不満者の改善意見		24	21	30	9	4	-	-
14 各教員別質問事項		-	-	-	-	-	-	-

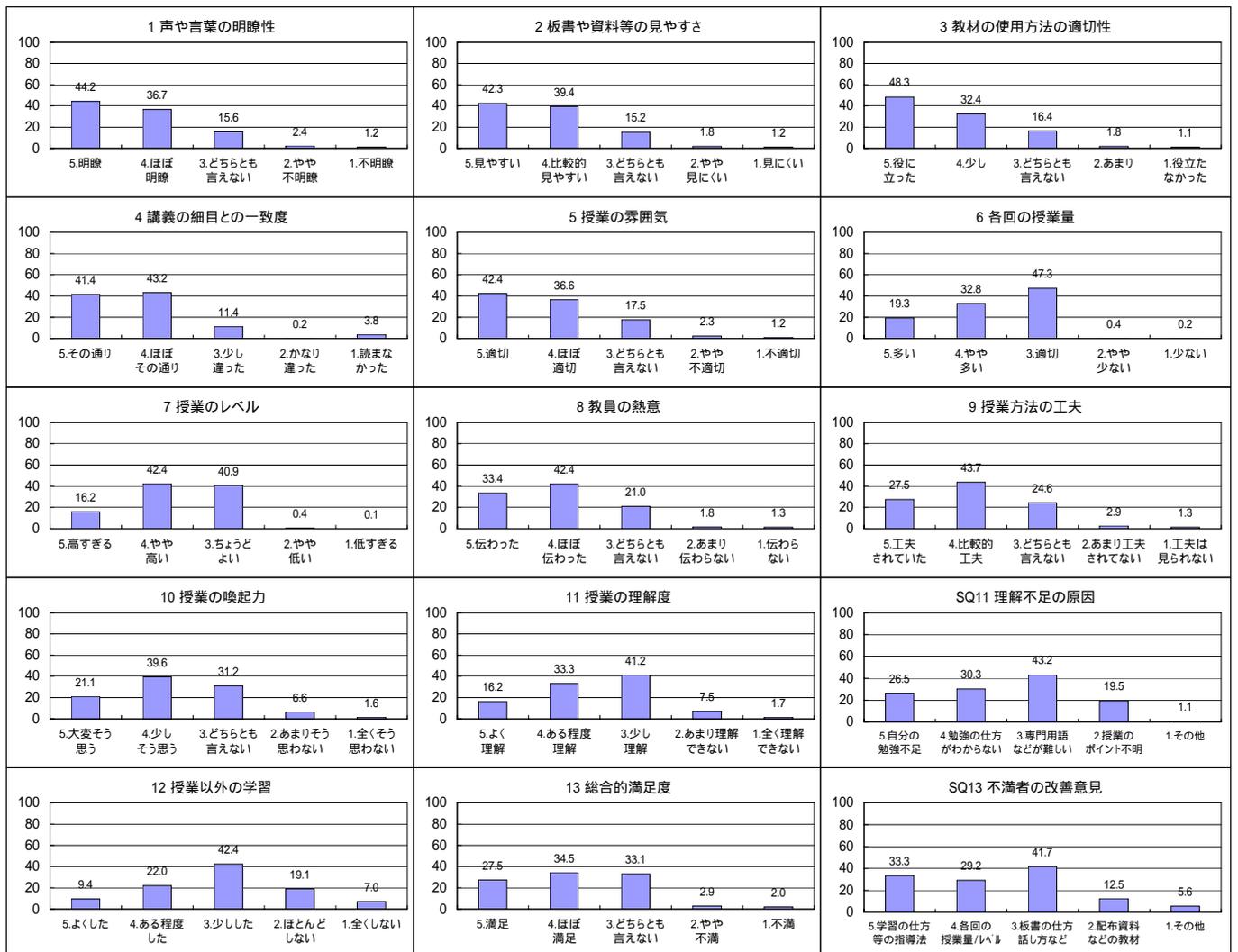
各項目の平均値のグラフ

ただし
 4 講義の細目との一致度
 6 各回の授業量
 7 授業のレベル
 SQ11 理解不足の原因
 SQ13 不満者の改善意見
 14 各教員別質問事項
 の6項目は、数値の意味が他の項目と異なるので、除外してある。



説明:

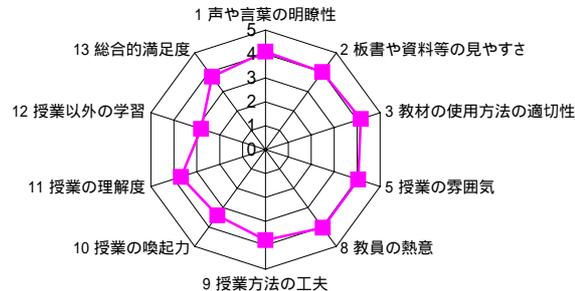
- 平均は、項目4以外は、回答1～5の回答数にそれぞれ1～5を加重した平均値である。
- 項目4のみは、回答1の質の違いを考慮して、回答2～5の回答数にそれぞれ1～4を加重した平均値である。
- 項目6,7は回答3が最適値である。



授業コード								
集計区分	児童教育学科(千住)		開講曜日				回答者	1,247
担当教員			開講時限				回答率	53.8%
履修者数	2,320		開講場所				平均	無効回答
	回答5	回答4	回答3	回答2	回答1	平均	無効回答	
1 声や言葉の明瞭性	476	484	226	42	15	4.10	4	
2 板書や資料等の見やすさ	436	467	261	59	14	4.01	10	
3 教材の使用法の適切性	541	403	241	39	11	4.15	12	
4 講義の細目との一致度	413	487	158	24	152	2.80	13	
5 授業の雰囲気	450	466	266	41	14	4.05	10	
6 各回の授業量	120	329	742	38	10	3.41	8	
7 授業のレベル	93	334	757	48	9	3.37	6	
8 教員の熱意	416	507	273	26	15	4.04	10	
9 授業方法の工夫	286	484	401	49	19	3.78	8	
10 授業の喚起力	183	392	474	110	79	3.40	9	
11 授業の理解度	197	519	472	36	13	3.69	10	
SQ11 理解不足の原因	46	56	74	29	4	-	-	
12 授業以外の学習	85	232	414	300	165	2.81	51	
13 総合的満足度	249	463	383	33	22	3.77	97	
SQ13 不満者の改善意見	34	39	47	12	7	-	-	
14 各教員別質問事項	-	-	-	-	-	-	-	

各項目の平均値のグラフ

ただし
 4 講義の細目との一致度
 6 各回の授業量
 7 授業のレベル
 SQ11 理解不足の原因
 SQ13 不満者の改善意見
 14 各教員別質問事項
 の6項目は、数値の意味が他の項目と異なるので、除外してある。



説明:

- 平均は、項目4以外は、回答1~5の回答数にそれぞれ1~5を加重した平均値である。
- 項目4のみは、回答1の質の違いを考慮して、回答2~5の回答数にそれぞれ1~4を加重した平均値である。
- 項目6,7は回答3が最適値である。

